

## 黒部五郎岳・双六岳 ☆ダイヤモンドコースを歩く☆

山行日：前夜発 8月4日～8月7日

コース：8/3（金）松戸駅 21時40分集合=松戸駅 21:45=池袋 22:27/バス 22:50=富山  
8/4（土）富山 6:10(バス) -折立 8:10/8:30-三角点 10:45-五光岩ベンチ 13:05-  
太郎平小屋 14:10  
8/5（日）太郎平小屋 6:15-北ノ股岳 8:55/9:05-中俣乗越 11:00-黒部五郎岳肩  
13:30/ 13:40-黒部五郎岳 14:00/14:10-肩 14:25-黒部五郎小屋 16:55  
8/6（月）黒部五郎小屋 5:05-三俣蓮華岳 7:55/8:10-双六岳 10:05-双六小屋  
11:30/12:00-弓折分岐 13:50-鏡平山荘 15:00  
8/7（火）鏡平山荘 5:20-シシウドヶ原 6:15/6:25-秩父沢出合 7:30/7:40-  
小池新道登山口 8:35-わさび平 8:55/9:15-新穂高ロープウェイ口 10:55

費用：50,000 円位

4日(土) 晴れ

富山駅で夜行バスを降り折立行きのバスに乗り継ぎ折立に着いたのが8時過ぎ、着いた時には駐車場は概に満車でした支度をして私達も登り始める。私がここを歩いたのは10年前山の会で立山から薬師岳まで縦走して以来なので懐かしい、急登が続く暑くてバテ気味なのでゆっくりと登って行きます。三角点を過ぎると樹林帯が終わり展望が開け登山道を登る人達の行列が見え、左には薬師岳の山容が見え始める。ゆっくりとバテないように登って行き太郎平小屋に無事到着～北アの十字路太郎平小屋は週末なので混んでいましたが、思っていたよりもゆったりとしたスペースを確保出来ました。外のベンチで薬師岳を見ながら飲んだ生ビールは最高!!



5日(日) 晴れ

今日も良い天気、予定より少し早く出発だ。いよいよ念願だった黒部五郎岳に向かって歩き出します、しばらくは木道の緩やかな登山道が続く地糖らしき窪地がありますが雨が降っていないので干上がっている。お花も終わっているのが多く今年はやはり花も早かったようです、でもよく見ると小さなお花が咲いていたりする。そしてこの縦走路は展望が素晴らしい、左に黒部源流の深い谷を挟んで雲の平の大地と薬師岳の雄大な山容が見え正面

にはこれから行く黒部五郎岳が見える。

北ノ俣岳・赤木岳を越え中俣乗越から黒部五郎の肩までの急登をゆっくりと登り肩に到着、荷物を置いて山頂に登ると 360 度の大展望!!今年登れるとは思っていなかったのが嬉しいな。しばしみんなで展望を楽しんでカールに下りる、この登山道が急でざれていて下りるのに神経を使った。カールに無事下りて雪溪の冷たい水でひと息入れ黒部五郎小舎に向かいますが、カールに下りてから小舎までが長かった。小舎は混んでいましたが遅く着いた私達には一部屋使わせて貰いラッキー、夕食も 7 時だったので外でゆっくりとお疲れ様が出来てよかったよかった。



6日 晴れ

今日は涼しいうちに歩きたいということで、3時30分起床、4時30分朝食、5時出発となりました。小舎から一時間ほど急登が続きましたが予定より早く出たので涼しい内に登れ、登山道も歩きやすく稜線に出ることが出来ました。稜線に出ると一面チングルマの群落、穂が日に照らされてキラキラと光っています、そして今日も薬師岳が目の前にほんとに薬師岳は大きい。稜線を歩き黒部乗越の分岐から三俣蓮華岳に登ると目の前には鷲羽岳から水晶岳の稜線・槍ヶ岳と北アの主立った山々が見えてしばし見とれる。前回来たのは14年前山の会で高天原温泉から縦走していた時でした、その時はガスっていて何も見えなかったのが嬉しい。続く双六岳からもまだ槍ヶ岳が見えていて一緒に行った吉田さんも10年越

しで双六岳のリベンジができたと言っていました。

双六小屋でお昼休憩を取り今日のお宿鏡平小屋に向かう、弓折岳分岐まで細かなアップダウンが続き暑さが戻って少々バテ気味な私達。登ってくる登山者達はほとんどがテント装備で若者が多かった、鏡平小屋手前にある池の水がほとんど無いのに驚き小屋の人もこんなことは初めてだと言っていました。鏡池には水はありましたがガスっていて池に映る槍ヶ岳は見えません、この小屋に泊まる1つの楽しみだったのでガッカリ。小屋は満員御礼だったけど私達は一部屋使わせて貰えました、今回の山行で部屋には恵まれていましたね。



7日 曇りのち晴れ

今日も早めに出発のため、3時30分起床の4時30分朝食5時出発でしたが小屋を出るときにポツポツ来たので慌てて雨具を着込んで出発しました。がすぐに止んだので途中で雨具を脱ぎシシウドガ原と秩父沢で休憩。ゆっくりと小池新道を下って行く時、自分の頭より高いザックを背負った大学生達とすれ違う聞くと12泊で親不知まで縦走するとのこと「頑張ってるね」と見送る。その他に7泊で上高地までという大学生達もいて、みな無事に目的地に着けますようにと思った。新しくなったワサビ平小屋で大休止をとり新穂高温泉のバス停に予定通り到着。丸山リーダーはじめ参加者の皆さまとお天気に恵まれて楽しい山行でした。

6月の例会見学時にこの山行を見て思わず申し込んでしまいましたが、まだ入会もしていないのに申し込んだ私を快く参加させて下さり本当にありがとうございました。